

都道府県名：大阪府 団体名：狭山池まつり実行委員会

地域

狭山池まつり実行委員会がご活躍されている大阪府大阪狭山市は、大阪府南東部に位置し、大阪市などのベッドタウンとして発展してきました。

大阪狭山市にある狭山池(大阪府史跡名勝)は、現存する日本最古のダム式のため池で、市の象徴として、また、人々の憩いの場として広く親しまれています。

狭山池は、南大阪地域の水田開発を進めるために、飛鳥時代の7世紀前半に築造されました。奈良時代以降、行基や重源、片桐且元といった歴史上著名な人物たちによって幾度となく改修を重ね、その貯水機能が保たれてきました。古代から現代まで1400年にわたって水をたたえ続け、南大阪の大地を潤す「生きた遺跡」です。

経緯

狭山池は、利水機能に加えて洪水調整機能を持たせるため、1986年から2001年にかけて、ダム化工事「平成の大改修」が行われました。

2001年8月、「狭山池」を市民のシンボルとして再認識し、よりよい水辺環境を創ることで、市民や子供たちがわがまちの歴史・文化を共有し、まちづくり・ひとづくり・コミュニケーションづくり・青少年の健全育成に役立てようと準備委員会が発足され、同年11月に市内各種団体に呼びかけて、ふるさとの誇りである「狭山池」の自然環境等を次世代に引継ぐため、市民・団体・事業者・行政等が英知を結集し、協働していくために設立されたのが「狭山池まつり実行委員会」です。

2002年4月の供用開始にあわせて、「狭山池生誕祝祭 灯火輪」「狭山池まつり」が開催されたことを契機に、毎年「狭山池まつり」が開催されています。

功績内容

- ・地元の学生等と協力しながら、狭山池周辺の清掃活動を毎年約13回開催し、環境保全意識の普及啓発活動に貢献している。
- ・狭山池に流入した木・竹材をチップ化し、樹木の堆肥や保水用として活用する取り組みや、植物の水生栽培や二枚貝の育成による水質浄化実験活動を行うなどの環境保全活動を推進している。



狭山池



狭山池クリーンアクションの様子